

(案)の逐条審議。

(27) トンネル工学委員会 (42.5.8) 出席者: 藤井委員長, 加納幹事長, ほか 26 名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 小委員会報告。3) 会計報告。4) 委員会構成について。5) 事業計画。

(28) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 6 回) (42.5.16) 出席者: 山本主査, ほか 3 名。議事: 1) 講演「道路建設における岩盤の問題点」日本道路公園稲田氏。2) 岩盤サンプル収集について。

(29) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ (42.5.16) 出席者: 関係者 11 名。議事: 省略。

(30) 岩盤力学委員会第 2 分科会 (第 8 回) (42.5.17) 出席者: 関係者 9 名。議事: 1) 国際岩盤力学協会について。2) 岩盤サンプル収集について。3) 調査報告「青函トンネルについて」国鉄 田中氏。

(31) 大学土木教育委員会 第 8 回幹事会 (42.5.17) 出席者: 林委員長, 高橋幹事長, ほか 8 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 大学土木教育に関するアンケート(案)について。

(32) 空港舗装研究委員会合同部会 (42.5.17) 出席者: 関係者 40 名。議事: 1) 経過報告。2) 空港舗装に関する研究項目について。3) その他。

(33) 本州四国連絡橋技術調査委員会幹事会 (42.5.18) 出席者: 関係者 15 名。議事: 省略。

(34) 本州四国連絡橋技術調査委員会第 9 回委員会 (42.5.19) 出席者: 関係者 56 名。議事: 省略。

(35) 岩盤力学委員会 第 1 分科会 (第 7 回) (42.5.19) 出席者: 関係者 16 名。議事: 1) 講演「Grouting の理論と実際について」電研 伊藤委員。2) 国際岩盤力学協会について。3) 岩盤サンプル収集について。

(36) 岩盤力学委員会 打合せ (42.5.22) 出席者: 岡本委員長, ほか 5 名。議事: 台湾のトンネル工事事故に関する件。

(37) 空港舗装研究委員会打合せ (42.5.22) 出席者: 関係者 5 名。議事: 1) コンクリート舗装部会 アスファルト舗装部会開催の運営について。2) その他。

(38) 空港舗装研究委員会 アスファルト舗装部会 (42.5.23) 出席者: 谷藤部会長, ほか 17 名。議事: 1) 経過報告。2) 空港アスファルト舗装に関する研究項目についての検討。3) その他。

(39) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会 (42.5.24) 出席者: 国分委

員長, ほか 21 名。議事: 1) 経過報告。2) 空港コンクリート舗装に関する研究項目についての検討。3) コンクリート舗装部会における分科会設置について。4) その他。

(40) 原子炉用 PS コンクリート容器に関する研究小委員会 (42.5.24) 出席者: 国分委員長, 猪股, 関の両主査, ほか 25 名。議事: 1) 原子炉用プレストレストコンクリート圧力容器に関する会議の報告。2) その他。

(41) 昭和 42 年度第 1 回水理委員会 (42.5.27) 出席者: 関係者 31 名。議事: 1) 委員交代の件。2) 第 12 回水理講演会課題について。3) 水工学夏期研修会について。

(42) 軟弱地盤耐震設計研究委員会幹事打合せ (42.5.31) 出席者: 関係者 9 名。議事: 1) 昭和 42 年度研究方針について。2) 昭和 42 年度開催計画について。3) 昭和 42 年度委員会構成について。

(43) 岩盤力学委員会 第 8 回運営委員会 (42.6.2) 出席者: 畑野副委員長, 色部幹事長, ほか 2 名。議事: 1) 国際岩盤力学協会について。2) 第 2 回岩の力学国内シンポジウム (1967) について。3) 岩盤サンプル収集について。4) 委員の交代。

(44) 異形鉄筋設計例改訂小委員会 (42.6.6) 出席者: 国分委員長, ほか 15 名。議事: 異形鉄筋を用いた設計例集の改訂について。

(45) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会コンクリート材料に関する分科会 (42.6.6) 出席者: 村田主査, ほか 9 名。議事: 1) コンクリート材料分科会研究課題について。2) その他。

(46) 空港舗装研究委員会 アスファルト舗装部会幹事会 (42.6.6) 出席者: 1) 関係者 4 名。議事: 1) 各分科会の性格と今後の研究方針について。2) その他。

(47) 本州四国耐風設計小委員会第 47 回幹事会 (42.6.6) 出席者: 関係者 13 名。議事: 省略。

(48) 本州四国連絡橋技術調査委員会幹事会 (42.6.9) 出席者: 関係者 11 名。議事: 省略。

(49) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会工場製品分科会 幹事会 (42.6.9) 出席者: 関係者 4 名。議事: 鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)の逐条審議。

(50) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会 コンクリート材料に関する分科会打合せ (42.6.9) 出席者: 国分部会長, 村田主査, ほか 3 名。議事: 1) 骨材

研究の委託について。2) その他。

(51) 大学土木教育委員会 第 9 回幹事会 (42.6.13) 出席者: 林委員長, 高橋幹事長, ほか 10 名。議事: 1) 大学土木教育に関するアンケート(案)について。2) 同上配布先について。3) シンポジウム開催の件。

(52) 空港舗装研究委員会 アスファルト舗装部会混合物の配合設計に関する分科会 (42.6.15) 出席者: 関主査, ほか 7 名。議事: 1) アスファルト舗装用フィルターについて。2) その他(配合試験について)。

(53) 本州四国 第 30 回耐風設計小委員会 (42.6.16) 出席者: 関係者 27 名。議事: 省略。

◎その他

(1) A.W. Rotz 氏講演会 (42.5.8) 場所: 土木図書館 5 号室 参加者: 26 名

原子力土木技術委員会委員 9 名
その他 17 名
題目: 冷却水の温度上昇 および液体廃棄物処分に関する諸問題について

(2) コンクリート標準示方書改訂主旨説明会 (42.5.17) 場所: 東京都・大和証券ホール 参加者: 約 400 名 講演題目: コンクリート標準示方書改訂主旨について

(3) コンクリート標準示方書改訂主旨説明会 (42.6.16) 場所: 大阪市・大阪科学技術センター 大ホール 参加者: 約 400 名 講演題目: コンクリート標準示方書改訂主旨について

支 部 だ よ り

◎北海道支部

(1) 支部幹事の委嘱 (42.4.25)

新任: (任期・44 年 4 月まで)

荒川利輝(再) 大林組札幌支店土木課長
坂倉忠興 北大工学部土木工学科助教
中村増治 開発局建設部河川計画課計画第 2 係長
野島広紀 札幌市水道局拡張部拡張工事第 1 係長
藤井憲次 " 工務課施設係長

留任: (任期・43 年 4 月まで)

坂塚 稔 開発局港湾部港湾建設課審査第 2 係長
伊藤直郎 北海道土木部道路課技術吏員
加藤統一 " 河川課 " 係長
篠農知徳 北大工学部土木工学科助教

黒田 充 北電土木部水路課改良係長
 近藤徹郎 開発局土木試験所港湾研究室副室長
 藤井 卓 〃 建設部道路建設課橋梁第2係長
 藤岡義香 国鉄札幌鐵道管理局工事第1課長
 星川信喜 日本鉄道建設公団札幌支社計画部計画係長
 (以上 14 名)

(2) 第1回幹事会(42.5.16, 支部事務局) 出席者: 伊藤幹事長, ほか 9名。
 議事: 1) 幹事会の運営について。2) 42年度支部事業, 同予算案について。3) 行事分担幹事について。

(3) 第1回商議員会(42.5.23, 支部事務局会議室) 出席者: 黒地支部長, ほか 19名。議事: 1) 42年度事業計画について。2) 同予算案について。3) 支部事務局運営について。

(4) 第1回講演会(42.6.7) 道銀ビル 12階
 共催: 日本建築学会支部, 土質工学会支部, 道土木技術会
 聴講: 110名
 講演者:

- ① カナダにおける地震工学
 プリティシニコロンピヤ大学教授
 S. チェリー博士
- ② テリーにおける地震工学
 テリー大学教授 R. フローレス博士
 (通訳・国際地震工学トレーニングセンター教授中川恭次氏)

(5) 第2回幹事会(42.6.13, 支部事務局会議室) 出席者: 藤井幹事長(代), ほか 8名。議事: 1) 42年度支部事業の具体化について; (イ) 講演会 4回, (ロ) 見学会 4回, (ハ) 学生映画会 4回, (北大, 室工大, 函専高, 北見工大)。2) 講習会の内容について(幹事長帰朝後決定)。3) 研究発表会論文募集について; (イ) 所属別幹事の分担, (ロ) 学会誌に会告。

◎関東支部

(1) 第1回幹事会(42.4.10, 土木学会) 出席者: 当山支部長, 堺幹事長ほか 6名。議事: 事業報告および決算, 事業計画および, 予算, その他。

(2) 顧問会(42.4.25, ホテルニュージャパン) 出席者: 当山支部長, ほか 7名。議事: 特別会員の増強について, その他。

(3) 役員会(42.4.28, 土木学会) 出席者: 当山支部長, 堺幹事長, ほか 15名
 議事: 新支部長選出, その他。

(4) 第4回通常総会(42.4.28, 土木図書館)
 出席者: 180名。

次第:

- ① 支部長あいさつ

- ② 昭和 41 年度事業報告 および決算報告の承認
- ③ 昭和 42 年度事業計画 および予算の報告
- ④ 商議員改選の承認
- ⑤ 新役員の紹介
- ⑥ 新支部長あいさつ
- ⑦ 映画「よみがえる川」上映

(5) 昭和 42 年度役員

支部長 松井 達夫 早稲田大学教授
 幹事長 今井 勇 建設省計画局地域計画課長
 商議員 大地 羊三 法政大学教授
 堺 毅 日本大学教授
 高橋 裕 東京大学助教授
 増岡 康治 建設省関東地建企画室長
 〃 河川局河川計画課長
 大久保喜市 首都圏整備委員会計画第2部調整官
 北岡寛太郎 国鉄施設局保線課長
 岡部 達郎 〃建設局停車場第1課長
 君島 博次 電力中央研究所土木第2部構造第1研究室長
 宮地 一郎 東京電力株式会社梓川水力建設本部
 山川 尚典 日本道鉄公団企画調査部長
 〃 京浜建設局建設部長
 神保 正義 水資源開発公団第2工務部長
 細田 和男 株式会社熊谷組仙台支店長
 川瀬 正俊 株式会社建設中社常務取締役
 小池 誉 西松建設株式会社土木企画部長
 石川 吉弥 前田建設工業株式会社技術研究部次長
 西沢 治 株式会社大林組東京支店土木部
 横田 周平 株式会社東京鉄骨橋梁製作所常務取締役
 生田 久也 鹿島建設株式会社土木企画部長
 金沢 良 株式会社間組大宮工場長
 秋永 規輔 神奈川県土木部長
 奥村 武正 東京都港湾局技監
 (以上 42 年度まで)
 内藤 幸徳 中央大学教授
 平嶋 政治 早稲田大学教授
 渡辺 隆 東京工業大学教授
 西川 喬 建設省関東地建河川部長
 〃 道路局地方道課長
 小林 正宏 国鉄東京鉄道管理局施設部長
 鈴木 秀昭 〃 東京第2工務局次長
 村上 省一 電源開発株式会社水力建設部次長
 小栗 良知 首都高速道路公団工務部長
 平岡 治郎 日本鉄道建設公団外環状線部次長
 耳野 慎 帝都高速交通管団建設本部第2工事事務所長
 伊丹 康夫 日本国土開発株式会社取締役
 伊藤 道夫 佐藤工業株式会社取締役
 山本 将雄 成和土木株式会社副社長
 橋本 敏男 日本工営株式会社専務取

締役
 関 好正 大成建設株式会社技師長
 前島 健雄 五洋建設株式会社道路部長
 松垣 光 三井造船株式会社
 五十嵐正武 群馬県土木部長
 (以上 43 年度まで)
 幹事 進藤 卓 国鉄東京工務局線増第2課長
 上前 行孝 首都高速道路公団第2建設部長
 中山 隆 帝都高速交通管団建設本部計画課係長
 椎貝 博美 東京工業大学工学部土木工学科
 三宅 政光 〃 都立田無工業高等学校
 水田 正男 〃 小石川工業高等学校
 松本 成男 東京都交通局高速電車建設本部建設部計画課長
 神奈川県土木部道路課橋梁係長
 石原 篤 飛鳥建設株式会社東京支店
 福田 豊 清水建設株式会社土木部工事課長
 (以上 42 年度まで)
 武川恵之助 建設省道路局地方道課長補佐
 田辺 末信 〃 河川局開発課長補佐
 中尾 一典 〃 関東地建東京国道工事事務所長
 佐藤 秀一 運輸省第2港企企画課長
 渡辺 信夫 日本道路公団東京支社設計課長
 目黒 顯清
 杉田 秀夫 日本鉄道建設公団東京支社環状線第5課長
 西 敏賢 水資源開発公団第2工務部調査役
 田村 達 群馬県土木部道路建設課橋梁係長
 根岸 博 栃木県土木部道路建設課橋梁係長
 飯田 豊 埼玉県土木部道路建設課企画係長
 佐藤 光春 電源開発株式会社水力建設部副調査役
 二階堂守夫 大成建設株式会社土木部設計部
 村山 政男 西松建設株式会社関東支店土木課長
 久保 良太 鹿島建設株式会社土木企画課長
 (以上 43 年度まで)

◎関西支部

(1) 騒音振動委員会幹事会(第7回)(42.3.29, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 5名。

(2) 公署用振動計規格に関する懇談会(前日本音響学会会長 守田栄氏を迎えて 42.4.18, 好文倶楽部)

出席者: 守田 栄(前日本音響学会会長) 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 19名

(3) 前日本音響学会会長 守田 栄氏を囲んで懇親会(42.4.18, 好文倶楽部) 出席者: 6名。

(4) 第11回騒音振動委員会(42.4.24, 神戸市西部埋立工事々務所) 高倉山, 発破現場見学した。出席者: 14名。

(5) 騒音振動委員会幹事会(第8回)(42.4.24, 神戸市西部埋立工事事務所) 出席者: 畑中幹事長, ほか16名。

(6) 第4回商議員会(42.5.9, 好文倶楽部) 出席者: 商議員19名, 評議員5名, 伊藤幹事長, ほか幹事8名。

(7) 第13回幹事会(42.5.9, 好文倶楽部) 出席者: 伊藤幹事長, ほか11名。

(8) 商議員補選について

商議員: 藤城弘之氏 山形県土木部河川課長に転出, 後任として奈良県住宅供給公社榎原ニュータウン建設所長奥村朝音氏に委嘱した。

(9) 第40回通常総会(42.5.9, 好文倶楽部)

1) 総会

1. 諸報告

2. 新役員紹介

支部長(昭和42年度)
河村 重俊 大阪市総合計画局長
商議員(昭和42, 43年度)
石橋金一郎 大阪府土木部計画課長
梅宮 康彦 大成建設(株)大阪支店 高山ダム作業所長
枝村 俊郎 神戸大学助教授工学部土木工学教室
大柳 義雄 滋賀県土木部湖南工業団地建設所長
柿沼 忠男 立命館大学助教授理工学部土木工学教室
菅 貞和 近畿地建大阪国道工事々務所長
黒田 喜芳 京都府土木建築部都市計画課長
末石富太郎 京都大学助教授工学部衛生工学教室
田中富三郎 (株) 鴻池組土木工務部長
丹野 哲郎 和歌山県土木部河川課長
千葉 静男 阪神高速道路公団工務部設計課長
戸谷 松司 兵庫県土木部河川課長
南雲 義男 (株) 浅沼組社長室土木部次長
袴田 恒夫 (株) 横河橋梁製作所取締役
橋本成一郎 オリエンタルコンクリート(株)大阪営業所次長
前田 泰敬 近畿日本鉄道(株)技術局土木部課長
宮原 良夫 大阪府立工業高等専門学校教授土木工学科
森 幸彦 (株) 森組専務取締役
柳森 嘉勝 福井県土木部道路課長補佐
山田 恒治 (株) 山田工務店専務取締役
横田 潤 関西電力(株)建設部ダム保安課長

評議員(昭和42, 43年度)

赤野 豊 (株) 大林組常務取締役
今川 正彦 京都市建設局長
岩垣 雄一 京都大学教授防災研究所
上田 明 西松建設(株)関西支店長
川島 晋 大阪工業大学教授土木工学教室
合田 健 京都大学教授工学部衛生工学教室
小松 定夫 大阪大学教授工学部土木工学教室
調 強 大阪府土木部長
神生 秋夫 神戸市土木局長
田杉 進一 南海電気鉄道(株)技術局工務部長
中平 一夫 高田機工(株)技術開発室長

北条 歩徳 国鉄大阪工務局長
三瀬 貞 大阪市立大学教授工学部土木工学教室
宮崎 茂一 第三港湾建設局長

3. 現, 新支部長挨拶

2) 講演

1. 歴史地理学的にみた近畿圏の道路問題
京都大学教授教養部 文博藤岡謙二郎

2. 歴史的風土の保全と古都保存法について
京都市計画局長 今川正彦代講
京都市計画局次長 高瀬嘉一郎

参加者: 69名

(10) 総会懇親会(42.5.9, 好文倶楽部)

参加者: 50名(内招待関係19名), 参加費: 500円

(11) 昭和42年度委嘱幹事および幹事

幹事長 伊藤 富雄 大阪大学教授工学部土木工学教室

幹事 足立 力 (株) 大林組土木部長
上田 明 補松建設(株)関西支店長
上林 達郎 阪神高速道路公団工務部工務第一課長

大西 清一 (株) 建設技術研究所大阪支社長
尾山 一郎 大阪市総合計画局築港深江線建設室主任
金屋敷忠儀 近畿地建琵琶湖工事事務所長
川本 正身 関西電力(株)建設部附
児玉 武三 大阪工業大学助教授土木工学教室

近藤 時夫 国鉄天王寺鉄道管理局施設部長
樫木 亨 大阪大学助教授工学部土木工学教室

瀬良 茂 (株) 片山鉄工所橋梁部長
鷺 継男 ビー・エス・コンクリート(株)大阪営業所長

谷本 喜一 神戸大学教授工学部土木工学教室

戸谷 松司 兵庫県土木部河川課長
島山 直隆 立命館大学教授理工学部土木工学教室

松本 正 大阪府土木部高潮課長
三瀬 貞 大阪市立大学教授工学部土木工学教室

宮崎 明 近畿地方建設局企画室長
薗 哲司 近畿日本鉄道(株)難波線建設工務局設計課長

森 忠次 京都大学助教授工学部交通土木工学教室

(12) 第12回騒音振動委員会(42.5.22, 好文倶楽部) 出席者: 12名。

(13) 騒音振動委員会幹事会(第9回)(42.5.20, 好文倶楽部) 出席者: 畑中幹事長, ほか6名。

(14) 引継幹事会ならびに昭和42年度第1回幹事会(42.5.23, 中央電気倶楽部) 出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか18名。

(15) 第1回見学会(九頭竜川長野ダム見学会)(42.5.25~26)

見学先: 電源開発 九頭竜川長野ダム等
参加者: 59名 全行程参加 40名

第2日より参加 19名
参加費: 全行程 1500円

第2日より 100円

(16) Dr. Eagleson 講演会(42.6.14, 京都大学土木総合館)

題目と講師: Design of Rainfall Networks
米国 M.I.T. 教授 Eagleson

参加者 45名

(17) 講習会「水理学. 水文学における最近の進歩」(42.6.14~15, 愛知県産業貿易館)

共催: 土木学会中部支部, 土木学会関西支部

題目: 24題
参加者: 144名

(18) コンクリート標準示方書改訂主旨説明会(42.6.16, 大阪科学技術センター)

主催: 土木学会
共催: 土木学会関西支部

題目: 5題
参加者: 420名

参加費: 会員1000円 非会員1500円

(19) Dr. Newmark 講演会(42.6.21, 京都大学土木総合館)

題目と講師: 土木構造物の地振応答と耐震設計について
米国イリノイ大学教授 Newmark

参加者: 200名

(20) 第1回商議員会(42.6.20, 好文倶楽部)

出席者: 商議員, 評議員, 理事, 支部長, 幹事長, 幹事 32名。

(21) 第2回幹事会(42.6.20, 好文倶楽部)

出席者: 河村支部長, 伊藤幹事長, ほか13名。

(22) 第13回騒音振動委員会(42.6.19, 好文倶楽部)

出席者: 関係者9名。

(23) 騒音振動委員会幹事会(第10回)(42.6.19, 好文倶楽部)

出席者: 畑中幹事長, ほか3名。

◎西部支部

(1) 第1回幹事会(42.4.26) 出席者: 沼田幹事長, ほか13名。議事: 1) 本年度事業および予算について。2) 支部役員構成について。3) 土木百年史編集について。

(2) 支部長移動(42.5.1, .) 支部長 佐田憲氏, 北九州市建設局長に転出につき後任に日本道路公団 福岡支社長 川崎偉志夫氏を推せん。

(3) 土木百年史編集委員会(42.5.8)

出席者: 村上委員長, ほか11名。編

集大要懇談。

(4) 第2回幹事会(42.5.24)出席

者：沼田幹事長，ほか12名。議事：1) 2) 土木百年史編集進行状況について。夏季講習会および見学会実施について。

編集
後記

8月号のハイライトとして、すでに新聞に報道されてみなさんご存知の山陽新幹線の建設工事の概要をまずおとどけしました。山陽新幹線はすでに東海道新幹線の工事で資料も十分整理され、さらに上積みの研究成果をみのらせるであろう工事です。本工事は世界的な土木事業であり、鉄道工学の近代的な範として、その進展をみまもりたい意義のある記事であります。

年を重ねるごとに理論はもちろん技術も進んで高強度の材料や新鋭の機械がつつぎに生まれてくるとそれにつれて土木工事も次第に大型化し難工事が能率的に処理されてゆく。鹿島港、新十三橋の建設工事とか木の浦トンネルにおけるボーリングマシンの実績例などはその所産ともいえる報告であります。

また、構造物の自動設計に関する2件の報告は、理論と実際について述べられており、現在の技術者不足、施

工管理制度の確立などの問題を含めて近い将来あるべき一つの方向を示すものといえます。長い間連載されました講座「測定」が今号をもって一応終了致します。長い間のおつきあい本当にありがとうございました。

続きまして、来月から10回にわたり「表現の技術」と題する講座をおとどけます。第1回はまず講座開設にあたって、大先輩の福田武雄先生がお書きくださいます。つづいて記号、図面、写真なども含めて論文のかきかたから講演や発表のしかた、印刷・校正、さらにはスライド、映画にいたるまでそれぞれの分野におけるベテランのかたがたにお願いしてあります。これを機会に今までついおっくになっていたかきかた、はなしかたをこれからは読者のみなさんが機会均等の意思を伝えていただくようになることを編集委員一同ねがっております。

炎天の下で工事にたずさわっておられるかたがたは十分おからだを大切にされますよう……。 (仁木理夫・記)

出版案内

申込先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会へ 振替東京16828番

土木技術者
のための

岩盤力学

岩質の地盤はさまざまな重要な土木構造物の基礎になっている。トンネル、ダム、地下発電所、橋梁などその例は数多い。

本書では、土木地質学、岩石の力学的性質、岩盤の強度および変形に対する理論的あるいは模型実験的解析法、岩盤の性質におよぼす透水の影響、斜面安定、掘削、ダム、トンネル等に対する岩盤力学の応用および最近の重要な研究紹介などをできるだけ平易に解説しました。とくに岩盤力学を使って設計施工が行なわれたわが国の工事例を多数集録したのが本書の特色であり、ぜひご一読下さるようおすすめします。

内 容：第1章 地質／第2章 岩石の性質／第3章 岩盤の試験／第4章 水と岩盤／第5章 岩盤力学における理論計算／第6章 すべり安定の計算／第7章 模型実験／第8章 掘削／第9章 ダムへの応用／第10章 トンネルへの応用／第11章 施工中および施工後の測定／第12章 最近の基礎的研究のすう勢

体 裁：B5判 本文8ポ一段 489 ページ

定 価：3600 円 会員特価：3000 円 送 料：200 円